

2026年（令和8年）

6月定例会

6月定例会審議結果	1
道の駅石川オープン ...	3
紙上中継	5
6月定例会一般質問 （町政をただす）	6
あれからどうなった？ （一般質問のその後は）	13
議会の活動	14

石川町 議会 です

こんにちは

発行／石川町議会

編集／広報常任委員会

No. 231

令和8年
8月1日

七夕飾り
願いを込めて



写真／いしがわこども園 うさぎ組2歳児のみなさん

石川町議会
ホームページ



国民健康 保険税決まる

6月 定例会

令和8年度の国保税は、県に事業費納付金を納入するため、前年度の決算剰余金3,000万円を充当し、県が示す標準保険料率を参考に以下の按分率を算定しました。なお、令和11年度には県内で保険料率の統一が予定されているため、県が示す標準保険料率との差を縮小するよう努めています。

◆医療分基礎課税額

医療機関にかかったときの医療費等の給付費用に充てるための財源として納めるもの。

区 分		7年度	8年度	比 較
所 得 割		5.98%	4.87%	▲1.11%
均 等 割		24,300円	25,700円	1,400円
平 等 割	一 般 世 帯	16,000円	16,400円	400円
	特 定 世 帯	8,000円	8,200円	200円
	特定継続世帯	12,000円	12,300円	300円

◆後期高齢者 支援金課税額

75歳以上の医療保険である後期高齢者医療制度を支援するため、その医療費等の財源の一部として納めるもの。

区 分		7年度	8年度	比 較
所 得 割		2.23%	1.85%	▲0.38%
均 等 割		9,100円	9,700円	600円
平等割	一 般 世 帯	6,000円	6,200円	200円
	特 定 世 帯	3,000円	3,100円	100円
	特定継続世帯	4,500円	4,650円	150円

◆介護納付金課税額

介護保険制度の財源として、40歳以上65歳未満の加入者（介護保険第2号被保険者）が納めるもの。

区 分	7年度	8年度	比 較
所 得 割	1.91%	1.41%	▲0.50%
均 等 割	9,600円	10,600円	1,000円
平 等 割	4,900円	5,200円	300円

◆子ども・子育て 支援金課税額

令和8年度から、こどもや子育て世帯を社会全体で支援するため、子育て施策の財源の一部として納めるもの。

区 分	7年度	8年度	比 較
所 得 割	—	0.30%	0.30%
均 等 割	—	1,300円	1,300円
18歳以上均等割	—	100円	100円
平 等 割	一 般 世 帯	800円	800円
	特 定 世 帯	400円	400円
	特定継続世帯	600円	600円

※所得割：加入者の所得に応じて課税します。※均等割：加入者1人につき、定額で課税します。

※平等割：加入者数に係わりなく、1世帯につき、定額で課税します。

※18歳以上均等割：こども（18歳に達する日以後の最初の3月31日までのこども）の被保険者については均等割が10割軽減されます。その軽減された分は、18歳以上の被保険者が本来の均等割に加えて負担することとなります。

令和8年6月定例会は、6月11日から6月17日までの7日間の会期で開かれ、専決処分1件、条例案件2件、補正予算2件、契約関係3件、人事案件9件、請願2件、議員発議2件の合計21件を審議しました。

一般質問には6人の議員が登壇し、41人の傍聴者がありました。

令和8年6月定例会 議案・請願・発議 審議結果

議案番号	議案名	審議結果(全員)
議案第34号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度石川町一般会計補正予算-第9号)	承認
議案第35号	石川町税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第36号	石川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第37号	令和8年度石川町一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第38号	令和8年度石川町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第39号	道の駅整備事業調整池改修工事請負変更契約の締結について	原案可決
議案第40号	道の駅整備事業道路改修工事請負変更契約の締結について	原案可決
議案第41号	石川町立小・中学校用タブレット端末等購入契約の締結について	原案可決
議案第42号	石川町農業委員会委員の任命について(泉 利夫氏)	同意
議案第43号	石川町農業委員会委員の任命について(野崎 重紀氏)	同意
議案第44号	石川町農業委員会委員の任命について(江尻 茂雄氏)	同意
議案第45号	石川町農業委員会委員の任命について(水野 勝栄氏)	同意
議案第46号	石川町農業委員会委員の任命について(永沼 善恵氏)	同意
議案第47号	石川町農業委員会委員の任命について(岩谷 金良氏)	同意
議案第48号	石川町農業委員会委員の任命について(瀧口 弘昭氏)	同意
議案第49号	石川町農業委員会委員の任命について(円谷 卓彦氏)	同意
議案第50号	石川町農業委員会委員の任命について(黒崎 佳奈氏)	同意
議案番号	請 願	審議結果(全員)
請願第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書	採択
請願第3号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	採択
議案番号	発 議	審議結果(全員)
発議第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決
発議第4号	国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	原案可決

審議の経過については、こちらをご覧ください。

令和8年6月
定例会最終日



原子力災害に伴う風評払
しよくのための情報発信事業
に2千万円、自治体と医療機
関をつなぐ情報連携システム
の導入経費に386万4千円、
高齢者の介護予防と在宅生活
を支援するための高齢者福祉
住宅改修事業補助金に315
万円、高齢ドライバーのため
の自動車急発進抑制装置整備
補助金に15万円を計上。

一般会計補正予算の 主なもの

農業基盤整備事業及び道の
駅整備事業の2事業において、
年度内に予算の支出が終わら
ない見込みであるため、繰越
明許費を設定し、令和8年3
月23日付で専決処分を行った
もの。

【専決処分】

地域の魅力と元気を発信！ 『道の駅石川』令和8年9月18日 ついにグランドオープン



議会でも議論となった事業費と町負担の構造

総事業費の膨らみによる財政圧迫を防ぐため、国からの交付金活用や、民間ノウハウを活かした運営手法（納付金制度）の導入が担保される形で進められてきました。

- ① **総事業費**…約17億4,305万円（建築、外構、調整池改修、道路改良等）
- ② **財源(国交付金等)**…約13億8,335万円
- ③ **町の実質的な負担額**…約3億5,970万円
- ④ **財政回収の仕組み**…運営事業者が年間売上の一部を町に納付する「納付金制度」を導入。30年間で計3億7,500万円の納付を見込み、町負担分の回収を目指します。

議会審議においては、この「30年間で約3億7,500万円」という納付金上限の達成見込みや、万が一売上が低迷した場合の町民負担のリスクについて、常に厳しくチェックが行われてきました。

「道の駅石川」は、単なる休憩施設ではありません。町の未来を切り拓く産業振興のエンジンであり、地域コミュニティを結ぶ懸け橋です。町議会としても、この拠点が未永く町民の皆様
に愛される場所となるよう、運営状況を注視していきます。

いわき石川線（石川バイパス）8月23日（日）全線開通！

主要地方道いわき石川線「石川バイパス」の1工区(1.66km)の整備が完了し、道の駅石川開業前の令和8年8月23日(日)に、全体計画のおよそ5.0kmが全線開通します。

今回の全線開通により、石川町中心市街地の渋滞緩和や狭い道路の解消、中通りと浜通りの連携強化による物流・観光の振興、さらには救急医療ネットワークの強化など、地域の安全と発展に大きく寄与することが期待されます。

※県では、開通に向け残る区画線工事等を進めています。



触れる 買う 食べる

新たな交流拠点 | 町内の新鮮な農産物や特産品が一堂に集結。地元食材を使ったフードコートや芝生広場、ドッグランなどを用意し、町内外から多くの人を訪れる賑わいの場を目指します。

安心を支える防災機能 | 万が一の災害時には、非常用電源を備えた一時避難所や物資供給の拠点として機能し、町民の皆様の「命を守る拠点」としての役割を担います。



フードコートイメージ



物販コーナーの一部イメージ

議会による主な審議経過

平成30(2018)年12月：議会からの「政策提言書」提出

地域経済の衰退に危機感を持った町議会（総務産業建設常任委員会）は、先進地視察を経て、町へ『道の駅整備について』の政策提言書を提出。

令和5(2023)年～令和7(2025)年：予算審議と本体工事着工

資材高騰が懸念される中、総事業費の妥当性や財政負担について厳しい質疑・審議を重ねて予算案を可決。令和7年7月に本体工事が本格着工。

令和8(2026)年3月定例会：開駅直前の最終審議

当初予算審査や一般質問において、直前に迫った開駅後の周辺経済への波及効果、地元出荷者の確保状況、周辺観光地との回遊性について活発な議論を展開。



議会での現地視察の様子
(6月16日)



開業予定日 令和8年9月18日グランドオープン

所在地 石川町字大橋58番地1

営業時間 9:00～17:00(予定) ※トイレ、駐車場、情報発信施設については、24時間利用可能

主な機能 物販施設、飲食施設、トイレ、情報発信施設(観光案内所)、芝生広場、ドッグラン

駐車場 普通車170台(EV1台含む)、大型車14台、身障者・妊婦5台



紙 上 中 継

予算審査特別委員会

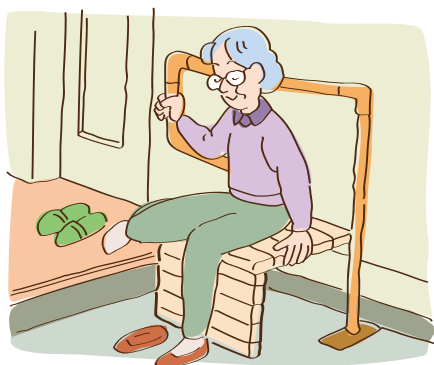
利用しやすくなった

高齢者福祉住宅改修事業

これまで、石川町
高齢者福祉住宅改修
事業について、利用
しやすい制度となる
よう見直しを求めて
きました。

このたび、対象年
齢は60歳以上のまま
維持され、所得制限
が撤廃されるととも
に、補助上限

額が9万円か
ら18万円へ引
き上げられる
ことになりました。
手すりの設
置や段差解消
など、転倒予
防に必要な改
修を早い段階
で行うことは、



骨折予防や在宅生活
の継続、介護予防に
もつながります。

高齢者の皆さんが
住み慣れた自宅で安
心して暮らし続けら
れるよう、今後も制
度の周知と、さらな
る福祉施策の充実に
取り組めます。

自動車急発進抑制装置の

設置補助制度を創設



高齢者によるアク
セルとブレーキの踏
み間違い事故を防止
するため、これまで
急発進抑制装置設置
補助制度の導入を求
めてきました。

このたび、6月定
例会において、補助
制度導入に係る予算
を可決し、65歳以上
の町民を対象に、装
置設置費用の2分の
1、上限3万円を補
助する制度が開始さ
れました。

急発進抑制装置補助金の概要

項 目	内 容
対 象 者	町内在住の65歳以上の方
対 象 装 置	国の性能認定を受けた後付け急発進抑制装置
補 助 額	設置費用の2分の1、上限3万円
対 象 外	営業用車両
問い合わせ	石川町防災環境課防災安全係 電話 0247-26-9127

※補助金は予算の範囲
内で交付されます。

※装置は運転を支援す
るものであり、過信
せず安全運転を心が
けることが大切です。

一般質問 町政をたずねます

一般質問は、町政全般にわたって町の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、定例会に限って行われます。今回は6名が登壇し、町の考えを尋ねました。

※紙面の都合上、質問と答弁を要約してお知らせします。（質問の一部を割愛しています。）詳細については、各議員のタイトルの横の二次元コードを読み込むと、録画映像によりご覧いただけます。

菊池美知男 議員

P7

- ◆高齢者保健福祉の推進について
- ◆町所有のマイクロバスについて
- ◆役場職員の資質向上の取り組みと職場環境の整備について



水野谷 常子 議員

P8

- ◆公共スポーツ施設の利用状況について
- ◆高齢者タクシー料金兼温泉施設利用料金助成事業の拡充について
- ◆閉校後の野木沢小学校の活用について



星 恵子 議員

P9

- ◆子どもの命を守る施策や取り組みについて
- ◆児童生徒の登下校の安全対策について
- ◆「石川町ゼロカーボンシティ宣言」について



乾 初美 議員

P10

- ◆流産死産など、お子さんをなくされた経験をした方へのグリーフケアについて
- ◆各種計画の実効性向上と知識共有の取り組みについて
- ◆道の駅石川の防犯対策について



迎 茂城 議員

P11

- ◆公共施設包括管理業務委託導入後の現状と今後の成果見通しについて
- ◆スポーツを通じた交流人口の拡大について



瀬谷 京子 議員

P12

- ◆小・中学校における各種校外学習及び大会等参加時の諸問題について
- ◆中学校の部活動地域移行の現状と課題について



Q 高齢者や障がい者の外出支援は



質問者の動画が見られます

A 福祉目的利用の「石川町福祉バス運行規程」を整備しました



きくち みちお 議員 菊池美知男

◆高齢者保健福祉の推進について

【質問】 老人クラブ（長寿会）活動支援の状況は。

【答弁】 専門職を派遣するなどの人的支援や財政支援を実施しています。年度当初に補助金の概算払いができるよう、今年度要綱改正を進めます。



【質問】 高齢者学級（寿学級）実施支援の状況は。

【答弁】 各地区の高齢者学級は、参加者が主体となつて実施されていますが、高齢者学級が円滑に実施されるよう、自治協議会と自治センターが連携し、事務局業務のサポートをしています。引き続き必要な支援を行っていきます。

【質問】 タクシー・温泉入浴事業の利用状況は。

【答弁】 本事業は、高齢者が日常生活の中で安心して外出できる環境づくりと、温泉施設利用による健康づくりに向けて支援しています。令和7年度末時点の申請状況は、75歳以上の対象者のうち、54.4%でした。今後も制度の周知を図りながら、さらなる利用促進に向けて取り組んでいきます。

◆町所有のマイクロバスについて

【質問】 マイクロバス利用規程と利用状況は。

【答弁】 令和7年度の運転業務委託の実績は、ワンボックスカー2台を含めた車両4台で202件、うち長寿会や寿大学などの高齢者の使用は19件でした。本年度から、町マイ

◆役場職員の資質向上の取り組みと職場環境の整備について

【質問】 職員等の町外在住者と遠距離通勤者について。

【答弁】 今年度の正職員145名中、町外からの通勤者は42名で、通勤距離は最長で片道57kmです。

職員採用においては、性別、居住地といった個別の属性によらず、能力や適性、意欲や熱意を重視し選考するので、広く優秀な人材を募る中で町外在住者が一定数いることは当然想定されます。

Q 多様な町民が利用しやすい公共スポーツ施設の環境整備の取り組みは



質問者の動画が見られます

A 計画的な施設改修とユニバーサルデザイン※の推進により利用しやすい環境整備に努めます



みずの やつね こ
水野谷常子 議員

◆公共スポーツ施設の利用状況について

質問 公共スポーツ施設の利用状況と利用形態は。

答弁 近年の利用状況は、コロナ禍からの回復を経ておおむね横ばいで推移していますが、武道館は減少傾向にあります。利用者は町内外を問わず、幅広い年齢層です。

総合体育館、総合運動公園多目的広場、町民グラウンド野球場は、中高生の部活動やクラブチーム、スポーツ少



多くの住民に利活用されることを望む温水プール軽運動場

年団の練習拠点として、また、各種大会の競技会場として活用されています。一方で、温水プールは、水泳や軽運動場でのパソナルトレーニングといった個人利用が主です。

質問 高齢者や障がいのある方、初心者など、多様な町民が利用しやすい環境整備の取り組みは。

答弁 誰もが安心かつ快適に利用できる施設づくりは重要な課題であり、ユニバーサルデ

ザインの推進に努めているところです。

◆高齢者タクシー料金兼温泉施設利用料金助成事業の拡充について

質問 現在の助成事業の利用状況は。

答弁 75歳以上の対象者の半数を超える1586名の方に加え、運転免許証自主返納者の申請もあり、前年度より7・8%増となっています。利用実績額も前年度より24%程度増加しています。

質問 助成支援項目に理容・美容店での利用拡充の考えは。

答弁 制度の目的などから、助成項目への追加は難しいと考えます。

◆閉校後の野木沢小学校の活用について

質問 旧野木沢小学校



利活用が望まれる旧野木沢小学校

の利活用の考え方と維持管理費の状況は。

答弁 今後、庁内において公共的な施設としての利活用の可否について精査を行うのと考えて、野木沢地区での「まちづくり懇談会」で、改めて旧校舎の活用に関する意向や要望を伺います。その上で、公共施設としての活用や地域からの要望がない場合には、今年度中には一定の方向性を出したいと考えています。

維持管理費は、昨年度1年間で、火災保険も含めて244万円ほどかかっています。

Q 「子ども110番の家」の現状は



質問者の動画
が見られます

A 個人住宅14件、事業所81件が登録されています



ほし けい こ 議員
星 恵子

◆子どもの命を守る施策や取り組みについて

【質問】 学校行事や部活動の移動手段は。

【答弁】 学校バス、町のマイクロバス、貸切バスを利用しています。練習試合は、保護者による送迎が基本です。

【質問】 「共同親権」に対する学校の対応は。

【答弁】 子どもも、その利益や安全を最優先に、それぞれの事例に応じた適切な対応が必要と考え

◆相談窓口一覧

よりそいホットライン
0120-279-226
ふくしま24時間子どもSOS
0120-916-024
ダイヤルSOS
0120-453-141
チャイルドライン支援センター
0120-99-7777
福島いのちの電話
024-536-4343
いじめ110番相談コーナー
0120-795-110

あなたのSOSに寄り添います

ています。

【質問】 改正自殺防止対策基本法の「学校の責務」については。

【答弁】 10代の死亡原因の第1位が自殺であり、極めて深刻な状況です。学校では、「SOSの出し方に関する教育」の実施、健康アプリの活用などにより、早期発見・早期対応に努めています。今後は、町保健福祉課や関係機関との連携を深めて取り組んでいきます。

【質問】 SOSの出し方では、CAP（子どもへの暴力防止）プログラムの活用が有効だと

考えるが、今年度の実施は考えているか。

【答弁】 学校の負担等の課題が改善できるのであれば、検討していきます。

◆児童生徒の登下校の安全対策について

【質問】 スクールバスのコースの見直しの考えは。

【答弁】 見直しについては、慎重に行う必要があると考えます。

【質問】 安心安全な送迎環境の整備について。

【答弁】 保護者への送迎ルートの周知、交通立誘導、交通規制による安全確保、防犯灯の設置などを進めています。

◆「石川町ゼロカーボンシティ宣言」について

【質問】 宣言までの経過は。

【答弁】 平成21年に石川町地球温暖化防止実行計画の事務事業編を策定、令和6年に改正、令和7年に区域施策編を策定しました。宣言によって地球温暖化防止対策への決意を示したところです。

【質問】 今後の取り組みは。

【答弁】 「石川町地球温暖化防止会議」で官民一体の取り組みを検討していきます。



石川町ゼロカーボンシティ宣言



Q 民間団体の案内や相談先をまとめた冊子作成など、自殺予防対策事業を活用した取り組みを進める考えは



質問者の動画が見られます

A 関係機関と連携し、どのようなことができるか、利用できるサービスは何かを整理した上で、冊子という形にしていく手順が必要と考えます



いぬい はつみ
乾 初美 議員

必要な人に、必要な支援を。誰ひとり孤立させない町へ。

意見 国は、流産・死産を経験された方への

答弁 実績はありません。

質問 国は、自治体職員向けにグリーンフケアに関する研修や説明会を実施している。本町の参加実績は。

◆流産死産など、お子さんをなくされた経験をされた方へのグリーンフケアについて

質問 各種計画の実効性向上と知識共有の取り組みについて

支援として、医療や専門職への接続、相談先や支援団体とのつながりづくり、情報提供や孤立防止を示しています。私自身の流産・死産の経験を踏まえ、必要な方へ必要な支援が届く体制づくりを求めます。



流産死産を経験された方への
グリーンフケア
県内のグリーンフケア支援団体「ReLink」のリーフレット

質問 一般質問は住民の声や地域課題、先進事例を共有する貴重な機会であり、担当課だけでなく庁内全体で共有・活用することが重要。議事録や録画視聴

質問 人事異動後の引き継ぎが不十分と感じることがあるが。

答弁 人事異動時には事務引継書により引き継ぎをしています。指摘も踏まえ、さらに徹底させます。

今ある既存の計画を統廃合したり簡素化する考えはあるか。

答弁 見直されないままの計画もあることから、今後は統廃合や見直しも含め一度整理したいと思っています。

◆道の駅石川の防犯対策について

質問 道の駅石川の防犯対策における町と運営事業者の役割分担は。

答弁 道の駅の運営は㈱TTCが担いますが、防犯対策は町・㈱TTC・㈱ヤマトで十分精査し進めます。今後も毎月の協議を通じて問題を共有し、町と運営事業者の役割を整理しながら対策に努めます。

を含めた庁内共有について、今後さらに強化する考えは。

答弁 一般質問での議員からの意見や要望、答弁内容を記録・整理し、議会総括の会議で確認したうえで各課に共有しています。各課において、ただ書類を回覧するのではなく、内容の共有を徹底していきます。



質問者の動画が見られます

Q 包括管理委託で地元業者は守られるのか

A 委託前と変わらず町内発注6割を維持しています



むかえ しげき 迎 茂城 議員

◆公共施設包括管理業務委託導入後の現状と今後の成果見通しは

【質問】 4月に包括管理を本格導入したが、現在の進捗と緊急時管理体制は。

【答弁】 24時間体制のコールセンターにより、夜間の公営住宅の断水トラブルにも迅速に駆けつけるなど、順調に推移しています。

【質問】 大手業者への委託により町内事業者が排除され、地元経済の循環が損なわれる懸念はないのか。

【答弁】 業者募集のプロ

ボーザル実施要領に町内事業者の活用を義務付けており、町内事業者の受注割合は、委託前と変わらず6割以上を維持し、地元経済循環に貢献しています。

また、民間事業者と地元事業者が一緒に仕事をすることで、事業の継続や地元事業者の育成というメリットにも期待しています。

【意見】 元請けによるコストカットや業者切り捨てが起きないよう、町がしっかりと指導監督



多くの設備等が管理される総合体育館

をしていってほしい。

◆スポーツを通じた交流人口の拡大について

【質問】 スポーツ補助金は好調だが、単なる一過性の交流人口にとどめず、一歩踏み込んだ

「関係人口」へと定着させるための戦略的なスポーツツーリズムを進めるべきではないか。

【答弁】 補助金利用は前年を大きく上回り、交流人口の拡大に一定の成果を上げています。この交流人口を関係人口へと定着、深化させるスポーツツーリズムの推進は今後の課題です。

【質問】 学法石川高校の陸上や自転車といった地元の強みや、ゆかりのあるOB・OGの



町で開催されている全国クラスのロードレース「石川サイクルフェス」

脈を活かし、住民と陸上を楽しむような事業機会を設けるなど、地域と住民が参画し「支え盛り上げる」まちづくりができないか。

【答弁】 町で開催している自転車ロードレースは、残念ながらスポーツツーリズムにはなっていないのが現実です。今後進めようとしている文化人・経済人との交流事業において、スポーツ関係の方との交流も深めながら、次のステップにつなげていきたいと考えます。

Q 中学校部活動の地域移行の課題は



質問者の動画が見られます

A 外部指導者となる人材の確保と施設の安全管理面です



せや きょうこ 議員
瀬谷 京子

◆小・中学校の各種校外学習及び大会等参加時の諸問題について

質問 校外学習や大会出場の状況は。

答弁 小学校では見学学習、宿泊学習、修学旅行、スケート教室、農業体験学習等です。課外活動では、陸上部、自転車部、合唱部、合奏部が、各種大会に出場しています。

中学校では、学習旅行、修学旅行のほか、部活動で練習試合、中体連、各協会主催の大会、各種コンクールに出場しています。

質問 移動手段は。

答弁 参加人数に応じ、学校バス、町のマイクロバス、貸切バス、公共交通機関の利用のほか、保護者に対応していただくこともあります。

質問 安全対策は。

答弁 「学校の危機管理マニュアル」と校外活動ごとの実施計画により安全確保を図っています。

質問 保護者が送迎する場合の他人同乗時の事故等の責任は。

答弁 学校で説明し、保護者の同意を得ているのは、自身の子どもを乗せての現地集合現地解散のみです。

◆中学校の部活動地域移行の現状と課題について

質問 現状は。



石川フィルハーモニック団員による弦楽部指導の様子

答弁 令和5年度から文化庁の指定を受け、中学校弦楽部の休日部活動実証事業として、石川フィルハーモニック団員が月2回（土曜又は日曜）指導しています。

質問 運動部は。

答弁 今年度から、ソフトテニスとハンドボール部で、外部指導者により休日の指導を行っています。

質問 今後の進め方は。

答弁 令和7年度に「石川町部活動地域展開

推進協議会」を設置し、今年度から段階的に休日の部活動の地域展開を目指す方針を決定しました。

内容は、町内の地域クラブ団体から推薦された方を外部指導者として配置し、休日の活動を行うものです。

質問 課題は。

答弁 昨年の意向調査では、外部指導者が推薦できない理由として「指導できる人材がない」「昼間の時間帯の指導は難しい」「クラブの存続自体が危ぶまれ外部指導者を出せる状況にない」との意見もありました。

指導できる人材の確保と育成が大きな課題と考えています。

今年度、県教育委員会が連携協定を結んだ「ブカサポ」に問い合わせるなど、人材確保に取り組んでいきます。

地域商社SAKURAIZEと 連携した特産品開発が進む

令和7年6月
定例会より

あれからどうなった？

一般質問のその後は

町では、特産品開発事業により、町内生産者や販売事業者の雇用の創出、所得向上による地域産業の活性化が図られるよう、町の特性を生かした商品の開発や、新たな農産物の試験栽培が進められています。

特産品の開発にあたっては、消費者には選ばれる商品づくりや、販路を見据えた事業展開の視点が重要となることから、一般社団法人地域商社SAKURAIZE（以下、「サクライズ」と連携した開発が行われています。

① 特産品開発事業（現在の取り組み状況）

日本酒の商品開発

製造・保管・流通・販売方法について整理し、関係事業者と商品化に向けた検討が進められています。



商品化に向け検討

菓子の商品開発

道の駅石川オープンに向けて、ペグマタイト鉱物のコンセプト商品「PEGMA GUMMI」をはじめ、数種類の商品化が進められています。



PEGMA GUMMIイメージ

栗の試験栽培

沢田地区の農家と連携し、約600本の栗の木が栽培されています。今秋には初めての収穫が予定されており、生栗販売のほか、菓子類や新たな商品展開も検討されています。



約2万平方メートルの土地で栽培する栗の木

② サクライズオリジナルブランド 「ISHIKAWA PEICE」での商品開発

サクライズは、特産品開発事業のほか、独自のオリジナルブランド商品を開発しています。
令和8年5月末時点：11商品を開発

● オリジナル商品開発の一例

福島県産米 食べ比べセット

令和6年11月発売
石川町産コシヒカリを使用



かさね和菓子 煎どら

令和8年2月発売
【連携事業者】菓子処
よしだや



クリームボックス （酪王カフェオレ味）

令和8年4月発売
【連携事業者】お菓子の
さかい



9月には「道の駅石川」がオープンします。町民はもちろんのこと、県内外からの来町があることから、交流人口の増加が期待されます。これらの商品を通じて、石川町の魅力を、より多くの人に知ってもらう機会の拡大が期待されます。

報告します 議会の活動

第32回角田市・石川町議会議員親善交歓会（5月8日）

姉妹都市の宮城県角田市へお伺いし、親善交歓会を行いました。阿武隈川河川敷で行ったパークゴルフには、石川町長、角田市長も



参加し、団体戦は接戦の末、角田市議会チームが勝利し



ました。その後、「道の駅かくだ」を視察した後に、表彰式を兼ねた懇親会を行い、親善を深めました。

令和8年第2回議員勉強会の開催（5月13日）



令和4年4月に施行された「石川町議会基本条例」に基づく、議会活動・議員活動における評価・検証について、議員勉強会を開催し、活動状況を実際に検証することとしました。

全国町村議会議長・副議長研修会に出席しました（5月26日）

令和8年度全国町村議会議長・副議長研修会が東京国際フォーラムで開催され、近内議長と乾副議長が出席しました。



この研修は、住民の代表機関として町村議会が果たすべき役割の重要性や課題について研修し、議会の一層の活性化に資することを目的としており、全国から約2,000名の町村議会議長・副議長が参加しました。



未来に向かつて

高校生の声

県立石川支援学校

3年 堀井 春希
ほりい はるき

現場実習を生かして



応できるように心掛けたことです。
ふたつ目は、他の従業員の方々に積極的に質問をしたり、休憩中に話しかけたりして、コミュニケーションを

取るようにしたことです。自分から話しかけたことで従業員のの方々に話しかけやすくなり、報告・連絡・相談もしやすくなりました。
今回の実習で、積極的なコミュニケーションは、仕事へのモチベーションにもつながることを学びました。
私は、実習で学んだことを生かして企業に就職し、自立した生活を送ることができるようになりたいです。

私は、ウエルシア福島玉川店で現場実習をしました。ウエルシア福島玉川店では、店内清掃や商品補充、前出しなどを行いました。今回の実習で意識して臨んだことがふたつあります。ひとつ目は、店内清掃のときに、お客様の買い物の妨げにならないようにしながら、商品の場所を確認して覚え、お客様に対



ウエルシア福島玉川店での現場実習の様子

編集後記

町民の皆様のご協力
で、いよいよ石川バイパスの開通、道の駅石川のオープンが間近となりました。胸が高鳴る思いとうれしさと感謝でいっぱいです。一緒に育てて、盛り上げていきましょう。皆さん、ぜひ道の駅石川に足を運んでみてください。
水野谷 常子

議会インターネット中継

町議会では、本会議のライブ映像及び録画映像を配信しています。町ホームページを経由してYouTubeで視聴することができますので、ぜひご覧ください。ホームページへはこちらの二次元コードからアクセスできます。



議会を
傍聴しませんか
9月定例会
「一般質問」は
9月7日(月)の
予定です。

広報 常任委員会

委員長	委員	委員	委員	委員	委員長
瀬谷 京子	菊池 美知男	迎 茂城	水野谷 常子	星 恵子	鈴木 義延

